

お客さまのまごころをさくらに託し、被災地に寄贈

「さくら並木プロジェクト植樹会 11.27 in 宮城県山元町」参加レポート

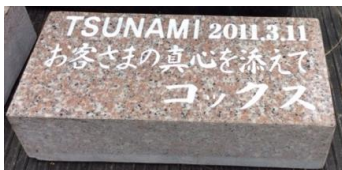
今春に続き従業員が参加し、さくらの苗木を植えることができました



株式会社コックスは、東北復興支援活動のひとつとして、2016年11月27日（日）に宮城県亘理郡山元町 戸花山で開催された「さくら並木プロジェクト植樹会」に参加しました。今回の植樹会は、戸花山をトンネルで通る常磐線の再開記念として開催されたものです。当日は心配していたお天気もち、地元の方や県外のボランティアなど約60名の方々と植樹活動を行ないました。当社が寄贈・植樹したさくらは今年の3月までに5本、この度の植樹で累計6本となりました。



地元の造園業者の方より説明を受けます。



さくらの傍に設置する石版



作業をしているすぐ横を試運転中の常磐線が通るたびに、歓声が上がっていました。



植樹したさくらの品種は「神代曙」

■神代曙（じんたいあけぼの）

東京都調布市神代植物公園で生まれました。ソメイヨシノより、耐病性があり花びらのピンクが濃いのが特徴です。



石版の設置作業



復興への願いをこめて植樹をします。



さくらは乾燥を嫌う為十分に水を与えます。



植樹完了！大きく育ちますように。

亘理郡山元町 戸花山とは

亘理郡山元町は、津波による甚大な被害を受け、町全体で亡くなられた方は600名にも上るそうです。

また震災以降、長い間一部不通になっていた JR 常磐線（相馬～浜吉田間）の全線再開を2016年12月10日（土）に控えている地域です。戸花山には移設された常磐線のトンネルが通っており、乗客の方に車窓から満開の桜を見て頂こうと今回の植樹地に選ばれました。植樹を記念した石柱には「咲き香れ 希望の復光桜」と書かれ、復興への強い思いが込められています。植樹会全体では約40本のさくらの苗木を植樹しました。



さくら並木プロジェクトとは

「さくら並木プロジェクト」は、東日本大震災時の津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とすべく、津波の到達した地にさくら並木を造成する、NPO 法人さくら並木ネットワークの活動です。当社はこの活動に賛同し、2014 年より参加しています。本年は、2015 年度に販売した支援商品の販売額の一部、約 5 万円を同プロジェクトへ寄付いたしました。この金額は、さくらの苗木 3 本分に当たります。今回の植樹会では今年 2 本目の植樹を行ないました。残りの 1 本分は、これまでに植樹したさくらの苗木のメンテナンス費用としてご活用いただけるよう、検討しております。

お餅つき大会・エイサー演舞

植樹後は、地元の方とお餅つき大会、琉球國祭り太鼓の方々によるエイサー演舞などが行われました。地元の方が東北の名物である芋煮も振る舞って下さり、心も体も温まりました。当社の参加者も教わりながら餅つきを楽しみ、笑顔あふれる交流の場となりました。

エイサー演舞では迫力満点な獅子の舞から始まり、終盤には会場も一緒になってエイサーを踊り、盛り上がりました。



2016 年春植樹地訪問

植樹会後は戸花山から車を走らせ、2016 年春の植樹地である福島県相馬郡新地町大戸浜地区^{しんちちやうおおとばま}へ向かいました。植樹場所は、震災の津波により被災した住民の多くが移り住んだ「防災集団移転地」の高台の一角にあります。

今回私たちが訪れることを知り、大戸浜地区長の濱野さんが来てくださいました。(右写真：中央) 濱野さんご自身も自宅が津波の被害に遭われています。貴重な体験談を聞き、被災地の現状を知ることができました。参加した従業員からは、「被災地を肌で感じられて良かった。またこの活動に参加したい!」という言葉が聞かれました。

植樹したさくらは、春よりも枝が伸び元気に育っていました。このように、無事に育っているのもボランティアの方によるメンテナンスのおかげです。この日も、私たちのために雑草を刈って下さっていました。いつもありがとうございます。さくらが咲く頃を楽しみにしています!

まだまだ→
復興途中の
海岸沿い



←日当たりのよい
斜面で元氣よく
育っています!



コックスはこれからも、一日も早い東北復興に向け、ファッションを通じた支援活動を継続して参ります。